

平成24年 月 日

もっと現場を知る！職員短期派遣 事前計画書

所 属 名	社会教育課	氏 名	土江 成夫
派遣先団体名	川津公民館		
①研修の日時			
(1) 「川津地区自治連合会結成 50 周年記念式典」			
平成 24 年 7 月 6 日 (金) 15:00 ～ 17:15			
平成 24 年 7 月 7 日 (土) 13:00 ～ 19:00			
(2) 「川津ふるさと夏祭り」			
平成 24 年 7 月 17 日 (火) 15:00 ～ 20:00			
平成 24 年 8 月 3 日 (金) 15:00 ～ 19:00			
平成 24 年 8 月 4 日 (土) 9:00 ～ 21:00			
平成 24 年 8 月 5 日 (日) 7:00 ～ 11:00			
(3) 「川津公民館 文化祭」			
平成 24 年 10 月 27 日 (土) 9:00～12:00			
平成 24 年 10 月 28 日 (日) 11:00 ～ 17:00			
②研修の内容(現時点で予定されている業務をできるだけ詳しく記載してください。)			
(1) 「川津地区自治連合会結成 50 周年記念式典」の運営補助			
(2) 「川津ふるさと夏祭り」の運営補助			
(3) 「川津公民館文化祭」の運営補助			
③その他特記事項			

(注1) 研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2) 研修期間が非連続の場合又は内容等の変更があった場合は、その都度提出してください。

(注3) この事前計画書は、所属長の承認のうえで、人事課あて提出してください。

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所 属 名	社会教育課	氏 名	土江 成夫
派遣先団体名	川津公民館 (松江市西川津町)		
① 研修の日時			
(1) 「川津地区自治連合会結成50周年記念式典」			
平成24年7月6日(金)15:00～17:15			
平成24年7月7日(土)13:00～19:00			
(2) 「川津ふるさと夏祭り」			
平成24年7月17日(火)15:00～20:00			
平成24年8月3日(金)15:00～19:00			
平成24年8月4日(土)9:00～21:00			
平成24年8月5日(日)7:00～11:00			
(3) 「川津公民館文化祭」			
平成24年10月27日(土)9:00～12:00			
平成24年10月28日(日)11:00～17:00			
② 研修の内容			
川津公民館での事業の運営補助に関わることにより、公民館の取組、地域での役割等について理解を深めるための研修を行った。			
(1) 川津地区自治連合会結成50周年記念式典 (7/6、7/7)			
川津地区はH24年5月31日現在、世帯数7,101戸、人口15,655人で、地区内には島根大学、松江東高校、松江養護学校、国際交流会館などの施設や複数の住宅団地を有する大規模な地区である。			
今回の研修では、昭和37年5月1日に9町内会(現在45町内会、自治会)で結成された川津地区自治連合会の結成50周年記念式典に参加することができた。			
記念式典には関係者約80名が参加し、功労者の表彰、松江市長の講演などが行われ、引き続き祝賀会では川津の子どもたちが取り組んでいる「川津ふるさと太鼓」が披露された。			
式典で配布された資料「川津地区自治連合会のあゆみ」によると、これまでの50年間の地区内の様々な出来事や取組が紹介されており、川津地区の歴史を知ることができた。			
前日の式典準備等も含め、自治連合会役員、公民館の職員の皆さんが連携、協力し、会場設営や会の運営が行われ、自主的、主体的に取り組まれている様子がよくわかった。			
(2) 「川津ふるさと夏祭り」(7/17、8/3、8/4、8/5)			
川津地区の住民が参加する恒例の夏祭りの運営協力を行った。			
7月17日の実行委員会では公民館運営協議会の委員の皆さんを中心に昨年の反省等を踏まえて祭りの内容等を協議した。夏祭り前日及び、当日の午前中はテント設営			

など会場準備やイベントで使用する材料の準備など役員等を中心に行った。夏祭り本番は夕方からの3時間だったが、担当の焼きそばコーナーは、終始、途切れないお客さんにステージを見る余裕もない忙しさだった。

終了後の片付け、翌日のテント等の撤去等はスムーズに時間をかけず行われ、関係者の皆さんの行動力を感じた。

(3) 「川津公民館文化祭」(10/27、10/28)

公民館で日頃行われている文化教室、サークル活動の成果を地域の皆さんに発表する文化祭の運営協力を行った。

公民館が担う「住民に対して様々な学習機会を提供する社会教育施設」という重要な役割の一環を住民の皆さんに知ってもらう大切な取組である。

限られた時間、スペースのなかで、たくさんの活動を手際よく発表、展示等するため、実行委員会を組織し、事前準備、当日の運営等が行われた。

ステージ発表の補助を担当し、ステージ袖からいきいきと発表されている姿をみて、社会教育、生涯学習の意義、取組の大切さを感じた。

③ 研修の感想

今回の研修では、公民館の一部の取組ではあったが関わることができ、公民館職員の皆さんと公民館を支える地域の皆さんの連携・協力のもとで公民館活動が成立していることを感じた。

特に、公民館スタッフは館長をはじめとして少ない人員で様々な事業に取り組んでおられ、公民館活動に協力する地域の人材の調整役として重要な役割を果たしていらっしやると感じた。

公民館活動は地域の個人の活動を支援するだけでなく、直接、地域の人たちを結び、より強い絆で地域全体の取組ができるような土台を作っていく重要な役割を担っていると思われた。様々な課題に対して、地域が一致団結して取り組んでいける地域力を感じた研修であった。

館長から、様々な取組に対して、世話をする方や参加者の固定化が課題であり、若手をはじめとして多くの町民の皆さんに参加してほしいというお話があった。

個人的に仕事をしながら公民館活動に協力することは現実的に難しい状況であり、今回のような研修に参加する形であれば、職場にも遠慮なく公民館活動に参加し、地域の皆さんとの交流や公民館活動の意義を知ることができ、お互いにとって有意義な取組と思われた。

④ その他特記事項